

医療と介護分野における福祉専門職の連携促進研修 ～地域生活を支援する～

本研修は、平成 28 年度より神奈川県の補助を受け、地域医療構想実現に向けた医療と介護の連携を推進していくための人材育成を目的として開催しています。国や県の政策動向から現場レベルの在宅医療の知識まで、医療と介護の連携に関する理論から地域づくりの実践まで、幅広く学びを深められる内容となっています。

研修に参加いただくことが、日ごろから感じている地域の課題を解決していくきっかけとなり、「病気や障害を抱えながらも、住み慣れた地域でその人らしい人生を送ること」を支える地域包括ケアシステムの構築へと発展していくことを期待します。



研修概要

○全 3 回 各回 10:00～17:30 (受付開始: 9:30～) 講義&グループワーク

日程	会場(会場案内図を参照ください)	
【1日目】 H29年11月18日(土)	ウイリング上大岡 12階 研修室 124-127 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめお-おおかオフィスタワー内	
【2日目】 H29年12月16日(土)	イムス横浜国際看護専門学校 〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 6-20-24	
【3日目】 H30年1月13日(土)	イムス横浜国際看護専門学校 〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 6-20-24	
【講義内容】(各回:講義4コマ+グループワーク1コマ)		
医療介護総合確保推進法と医療介護連携の必要性 講師:大道 久 氏 (神奈川県地域包括ケア会議・同在宅医療推進協議会 委員長 日本大学名誉教授)	医療と介護の連携方法論 講師:高橋 恭子 氏 (神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科 教授)	「脳卒中」の生活障害と医療・介護連携の必要性 講師:中田 裕 氏 (さがみりハビリテーション病院)
「心疾患」の生活障害と医療・介護連携の必要性 講師:大岩 功治 氏 (JCHO 横浜中央病院 副院長)	緩和医療と訪問診療の現状 講師:朝比奈 完 氏 (睦町クリニック 院長)	神奈川県地域医療構想 講師:加藤 健太 氏 (神奈川県 保健福祉局保健医療部 医療課 調整グループ)
在宅医療にむけて 分化する病床機能の役割 講師:佐野 晴美 氏 (JCHO 横浜中央病院 医療ソーシャルワーカー)	精神医療の現状 講師:長見 英知 氏 (湘南精神保健福祉士事務所)	「認知症」の生活障害と医療・介護連携の必要性 講師:金井 緑 氏 (樹診療所 精神保健福祉士)
神奈川県の在宅介護と介護施設の現状 講師:成田 すみれ 氏 (神奈川県介護支援専門員協会 理事)	「糖尿病」の生活障害と医療・介護連携の必要性 講師:鈴木 悦朗 氏 (日横クリニック 院長)	「がん」の生活障害と医療・介護連携の必要性 講師:坂下 智珠子 氏 (北里大学病院 がん看護専門看護師)

*各日、研修終了後事務連絡、アンケート記入あります

*運営上の都合により、講義する日にちを他の講義と入れ替えることや、1日の中で順番変更を行う場合があります

「医療と介護分野における福祉専門職の連携促進研修～地域生活を支援するために～」

参加申込書

【送付先 FAX】:**045-827-1217** (神奈川県医療ソーシャルワーカー協会事務局)

※ 送付状は不要です。本紙のみ送信してください。

申し込み締め切り:10月20日(金)

先着順・募集定員に達し次第受付終了とします。

満席で参加いただけない場合のみ、ご連絡します。(受講可能者へは返信はいたしません。)

（ふりがな） 氏名	修了証に記載する名前です。楷書で丁寧に書いてください。	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	（年齢： 歳）
勤務先名称		部署名	
職種名		経験年数	（ 年 ヶ月）
連絡先の別	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 ※必ずどちらかにチェックをいれてください。		
連絡先住所	〒 -		
電話番号 FAX番号		種別	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯

【送付先 FAX】:**045-827-1217** (神奈川県医療ソーシャルワーカー協会事務局)

※ 送付状は不要です。本紙のみ送信してください。